

## ②③ 実戦小論文～アンカー小論文

→ 資料を請求する

		対象学年：高3		レベル：3	
採用商品		補助教材・学習内容		価格(ご請求額)	
4月	<p><b>実戦小論文 第1回</b></p> <p>4月中旬実施</p>	<p>小論文完成ノート 「実力完成編」</p> <p>↓</p> <p>小論文完成ノート ①「要約完成編」または②「知識・情報編」 どちらか1冊選択</p> <p>↓</p> <p>小論文のファイナルポイント</p>	<p>実戦小論文では、800字の小論文を完成させることができます。</p> <p><b>実戦力完成編</b> ある程度、小論文を書けるようになった生徒が添削の評価を見て、答案の不要な部分や簡潔にすべき部分を知り、新たな要素を盛り込むことによって、より内容のある小論文にブラッシュアップするためのノートです。 ①まず、一般的な小論文の書き方に沿って、構成を考えます。②実際に添削された答案を使って、添削内容に沿って書き直してみます。③添削の意味するところを具体的に示し、添削内容を理解できるようにします。④書き直した解答がどのようにブラッシュアップされているかを理解します。⑤問題に関するキーワードを誘うことによって、より内容のある小論文になります。</p> <p><b>要約完成編</b> 小論文を書くときには、まず与えられた課題文の内容が理解できていなければなりません。そのために必要となるのが要約力です。このようなことから入試でも、意見を書かせる前にまず要約させる出題が増えていますが、要約の設問がなくても、要約することは小論文に欠かせない手順です。このノートでは、小論文では欠かせない要約のしかたを学びます。 ①要約という手順については「ステップ基礎小論文」でも学習しますが、そのエッセンスを簡単に振り返ります。②実際に入試に出題された問題を使って、要約する手順を学びます。</p> <p><b>知識・情報編</b> 小論文の内容を高めるには、そこに盛り込むべき内容を増やさなければなりません。また、入試を考えたときに、学部系統ごとの入試傾向を知り、その対策を練っておくことは欠かせません。このノートでは、このような知識の充実と入試傾向・対策を図ります。 ①まず、学部系統ごとの傾向を大まかに理解します。②マンガを使って、その学部系統で問題となるテーマについて理解を図ります。③学部系統で身に付けておきたい大切な基本知識を、寸劇を使って理解します。④頻出キーワードを学びます。⑤実際に出題された入試問題に挑戦します。巻末に解答欄があるので、実際にそこに書いてみて、別冊の解答で確認します。</p>	<p>実戦小論文 第1回 2,100円(1,900円)</p>	
5月	<p>5月上旬返却</p> <p><b>実戦小論文 第2回</b></p> <p>5月中旬実施</p> <p>6月上旬返却</p>			<p>実戦小論文 第2回 2,100円(1,900円)</p>	
7月	<p><b>アンカー小論文 第1回</b></p> <p>7月中旬実施</p> <p>8月下旬返却</p>			<p>アンカー小論文第1回 3,000円(2,800円)</p>	
1月	<p><b>アンカー小論文 第2回</b></p> <p>1月下旬実施</p> <p>2月中旬返却</p>			<p>アンカー小論文第2回 3,000円(2,800円)</p>	
3月				<p>アンカー小論文は、1000～1100字の小論文を完成させます。 国公立大学、難関私立大学、2次試験対策に最適です。 センター試験後の実施で、国公立大学2次試験対策ができます。</p>	